

令和3年度教育課程研究指定校事業研究協議会 高等学校 総合的な探究の時間



地域と連携した**探究活動**によってグローバル人材・
グローバル人材を育成するカリキュラムの構築

～SDGsの達成を目指した地域活動と課題研究を実現させる

指導と評価のあり方について～



令和4年2月3日(木)
熊本県立八代高等学校
遠山 規子

熊本県立八代高等学校について

- 所在地 熊本県八代市
- 全日制普通科高校
- 創立126年目
- (H21～)併設型中高一貫校
- 高校18学級 中学校6学級
- 県南地域最大規模の拠点校
- 主に八代、芦北、水俣から生徒が集まる



発表内容

- 1 本校の抱えていた「総合的な探究の時間」の課題
- 2 目標設定
- 3 本校の実践
- 4 成果と課題

1 本校の抱えていた 「総合的な探究の時間」 の課題

これまでの「探究」(以前の総合的な学習の時間)

課題研究(グループ)

高校1年次

オリエンテーション

学問研究

フィールドワーク

夏休み

課題研究(グループ)

振り返り

課題研究(個人)

高校2年次

オリエンテーション

課題発見

課題設定

課題研究(個人)

振り返り

進路学習

高校3年次

進路の明確化

課題研究成果発表会

探究講座(小論文)

探究講座(学問)

これまでの「探究」(以前の総合的な学習の時間)

職員アンケートより

教師の課題

- 「教員側の知識不足」「担当がぶっつけ本番で探究の授業に臨んでいる」
- 「課題発見(テーマ設定)に対する時間や指導が不足している」
- 「生徒が想定通りに研究や発表をしていくよう指導することが困難」
- 「どのような生徒を育成したいのかコンセンサスが取れていない」
- 「探究と他教科との繋がり、教育課程における探究の大切さについて、共通理解が図れていない」
- 「職員間に温度差がある」
- 「担当の教員だけに負担が集中している」

生徒の課題

- 「生徒がネット頼みの調べ学習になってしまっている」
- 「生徒の社会的課題に対する興味関心が薄い」

両方の課題

- 「職員・生徒ともに、探究に時間を割くだけの余裕がない」

環境

- 「ICT環境が未整備」「授業が飛び飛びで系統的な指導ができない」

課題(＝本校の探究で実践すべきこと)

- ① 課題意識の触発・課題設定への支援
- ② 課題意識や調べ学習を「行動」につなぐ工夫
- ③ 当事者意識の喚起
- ④ 進路・LHR・教科等との関連
- ⑤ 主体性の育成

2 目標設定

細領

一、誠実にして

真理を愛する

一、自律を旨として

協和を重んずる

一、闊達にして進取

の氣象を尚ぶ

八代高校における教育目標
(=八高のめざす生徒像)

生徒一人一人が自己有用感を高め、国際社会の多様性を理解する人権感覚を身につけ、他者とのコミュニケーションを円滑に維持しながら、協働的、発展的に物事を遂行する高い理想をもった自立したグローバル人材を育成する。



探究する力

表現する力

(1)要約・構成・工夫・論理性

(2)コミュニケーション・プレゼンテーション

協働する力

学びに向かう力

探究する力

表現する力

(1)要約・構成・工夫・論理性

(2)コミュニケーション・プレゼンテーション

協働する力

学びに向かう力

探究として細分化
3観点ごとに分類

知識 技能	・物事を多角的に見る力 ・情報を収集し整理する力 ・要約する力 ・構成する力 ・コミュニケーション力, プレゼンテーション力 ・協力する力 ・責任感
思考力	・物事の連関を捉える力 ・課題を解決する力
判断力	・情報を整理分析する力 ・論理的に考察する力・効果的に伝える力
表現力	・論理的に伝える力 ・コミュニケーション力, プレゼンテーション力
学びに 向かう力 人間性	・地域と関わる力 ・多様な他者と協働する力 ・協働して社会に貢献する力 ・主体性 ・当事者意識 ・創造性 ・使命感

八代高校で育成したい資質・能力

資質・能力	総合的な探究の時間	国語	地歴・公民	数学	理科	保健体育	芸術	英語
知識・技能	・情報を収集し整理する力・物事を多角的に見る力(探究する力) ・要約する力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・構成する力(表現する力) ・協力する力(協働する力) ・責任感(学びに向かう力)	・ものの見方・考え方を捉える力・要旨を把握する力・豊かな語彙力・要旨を正確に把握する力(探究する力) ・表現の特色に関する知識・内容を検討する力・構成する力(表現する力) ・伝え合う力(協働する力) ・ものの見方・考え方を広げる力(学びに向かう力)	・歴史、地理、社会制度への理解(基礎知識) ・統計、資料を読み取る力(資料読解力)	・分析力(調べる・比べる) ・表現力(伝える・伝わる) ・試行力(挑戦する・諦めない) ・論理力(納得できる) ・協働力(繋がる・巻き込む・思いやる) →これらの土台となる知識・技能	・文章を整理する力 ・計画通りに実験する力	・自己や集団の課題を自ら気づき、それに対する目標設定や達成のための方法を自ら見出し、実生活の中に取り入れることができる力	・多様性を理解する力 ・効果的・創造的に表現する技能	・基礎基本の習得 ・大学入試レベル(英検2級レベル)の学力 ・バランスの取れた4技能スキル ・プレゼンテーション力 ・ディベート力
思考力 ・判断力 ・表現力	・物事の連関を捉える力・課題を解決する力(探究する力) ・効果的に伝える力・論理的に伝える力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力(表現する力)	・意見を交流して学び合う力(協働する力) ・論理的・批判的に考える力・ものの見方・感じ方・考え方を深める力・創造的に考える力(探究する力) ・効果的に表現する力・根拠や論拠を吟味する力(表現する力) ・意見を交流して学び合う力・議論を通して考察する力、深く考察する力(協働する力)	・言説の違和感を抱く力(批判的思考力) ・最適解を導き出す論理的思考力 ・説得的な説明のための文章記述力	・分析力(調べる・比べる) ・表現力(伝える・伝わる) ・試行力(挑戦する・諦めない) ・論理力(納得できる) ・協働力(繋がる・巻き込む・思いやる) →これらを実践するための思考力・判断力・表現力	・仮説を設定する力 ・実験結果を分析する力 ・実験結果を表出する力	・運動の継続の仕方や仲間との共有する力を身につけ、生涯体育スポーツに貢献できる力を備える	・創意工夫する力 ・良さや美しさに気づく力 ・明確な表現意図を持つ	・論理的思考力 ・批判的試行力 ・課題発見・解決能力 ・対話力(他者と状況に応じて適切なコミュニケーションがとれる力) ・想像力 ・予測する力
学びに向かう力 ・人間性	・地域と関わる力・多様な他者と協働する力・協働して社会に貢献する力(協働する力) ・主体性・当事者意識・創造性・使命感(学びに向かう力)	・主体性・当事者意識・創造性(学びに向かう力)	・自分で学習する主体性 ・答えを模索し合う対話力	・分析力(調べる・比べる) ・表現力(伝える・伝わる) ・試行力(挑戦する・諦めない) ・論理力(納得できる) ・協働力(繋がる・巻き込む・思いやる) →これらを備えた上での学びに向かう力・人間性	・自然現象に感動する力 ・疑問に思う力	・礼節をわきま役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしたり、全体やグループの体力や運動技能、人間関係を高められるような力	・生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる力 ・主体的・協働的に取り組む力	・主体性(学習姿勢の形成、自らの生き方あり方を考える力) ・グローバル視野(世界や社会の中で自分とのつながりを考える力) ・協働性

■ 学習指導要領 第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(以下略)

踏まえて

■ 八代高校における教育目標 (=めざす生徒像)

生徒一人一人が自己有用感を高め、国際社会の多様性を理解する人権感覚を身につけ、他者とのコミュニケーションを円滑に維持しながら、協働的、発展的に物事を遂行する高い理想をもった自立したグローバル人材を育成する。

踏まえて

■ 八代高校の「総合的な探究の時間」の目標 (第2の目標)

- ① 地域や社会の物事に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、社会に対する概念を多角的に形成し、課題を解決することが地域や社会の発展に資することに気付くようにする。(知識及び技能)
- ② 地域や社会と自分自身との関わりの中で探究課題を見だし、課題解決のための情報を収集し、物事の連関を捉えながらそれらを論理的に整理・分析し、まとめた内容を効果的に発信することができるようにする。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ③ 地域や社会と繋がり、多様な意見を取り入れながら、主体的・協働的に課題を解決するとともに、創造性と使命感を持って、よりよい地域や社会の実現に貢献する態度を養う。(学びに向かう力, 人間性等)

3 本校の実践

八代高校の探究のキーワード

I 地域資源の活用

→ 課題意識、当事者意識、主体性、協働性 が生まれる

II SDGsの視点

→ 地域、世界、生き方、探究、教科 がつながる

III 「考えるための技法」の活用

→ 整理・分析に役立つ、協働性が生まれる
各教科の見方・考え方を通して、探究と教科 がつながる

○順序付ける ○比較する ○分類する
○関連付ける ○多面的に見る・多角的に見る
○理由付ける ○見通す ○具体化する
○抽象化する ○構造化する

内容のまとめり

熊本県立八代高等学校 第1学年「総合的な探究の時間」の指導と評価計画

八代高校の「総合的な探究の時間」の目標（第2の目標）

- ①地域や社会の物事に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、社会に対する概念を多角的に形成し、課題を解決することが地域や社会の発展に資することに気付くようにする。（知識及び技能）
- ②地域や社会と自分自身との関わりの中で探究課題を見いだし、課題解決のための情報を収集し、物事の連関を捉えながらそれらを論理的に整理・分析し、まとめた内容を効果的に発信することができるようにする。（思考力・判断力・表現力）
- ③地域や社会と繋がり、多様な意見を取り入れながら、主体的・協働的に課題を解決するとともに、創造性と使命感を持って、よりよい地域や社会の実現に貢献する態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

内容のまとめり

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
地域を知り、地域と主体的に関わり合い、地域と連携した探究活動を行うことによって、グローバル人材・グローバル人材を目指す	ア【物事を多角的に見る力】 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解する。 イ【物事を多角的に見る力】 現代社会の抱える課題に対する様々な見方や考え方を理解する。 ウ【情報を収集する力】 文献やインターネット等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりする。 エ【要約する力】 資料に基づき、伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめる。 オ【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめる。 カ【コミュニケーション力・プレゼンテーション力】 まとめた内容を聞き手に正確に伝える。 キ【協力する力】 班で協力して探究の取組をまとめる。	ア【物事の連関を捉える力】 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を、様々な見方や考え方と関連付けて考察する。 イ【課題を解決する力】 地域と自己との関わりから課題を設定する。 ウ【課題を解決する力】 設定した課題に対して、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を検討する。 エ【情報を整理・分析する力、論理的に考察する力】 文献やインターネット等を活用して収集した必要な情報を整理・分析し、論理的に考察する。 オ【効果的に伝える力】 調査内容や提案内容について、表や図を用いるなど工夫して、効果的にまとめる。 カ【論理的に伝える力】 調査内容や提案内容の主題を、明快かつ論理的にまとめる。	ア【地域と関わる力】 地域と繋がりがながら探究に取り組む。 イ【多様な他者と協働する力】 多様な意見を取り入れながら、多様な他者と協力して探究に取り組む。 ウ【主体性】 多様性を受け入れながら、探究に主体的かつ積極的に取り組む。 エ【主体性・当事者意識】 地域や社会の課題を自らの課題として捉える。

内容のまとめりごとの評価規準

探究課題	内容のまとめりごとの評価規準		
	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域を知り、地域と主体的に関わり合い、地域と連携した探究活動を行うことによって、グローバル人材・グローバル人材を目指す	ア【物事を多角的に見る力】 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解している。 イ【物事を多角的に見る力】 現代社会の抱える課題に対する様々な見方や考え方を理解している。 ウ【情報を収集する力】 文献やインターネット等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりしている。 エ【要約する力】 資料に基づき、伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめている。 オ【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめている。 カ【コミュニケーション力・プレゼンテーション力】 まとめた内容を聞き手に正確に伝えている。 キ【協力する力】 班で協力して探究の取組をまとめている。	ア【物事の連関を捉える力】 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を、様々な見方や考え方と関連付けて考察している。 イ【課題を解決する力】 地域と自己との関わりから課題を設定している。 ウ【課題を解決する力】 設定した課題に対して、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を検討している。 エ【情報を整理・分析する力、論理的に考察する力】 文献やインターネット等を活用して収集した必要な情報を整理・分析し、論理的に考察している。 オ【効果的に伝える力】 調査内容や提案内容について、表や図を用いるなど工夫して、効果的にまとめている。 カ【論理的に伝える力】 調査内容や提案内容の主題を、明快かつ論理的にまとめている。	ア【地域と関わる力】 地域と繋がりがながら探究に取り組んでいる。 イ【多様な他者と協働する力】 多様な意見を取り入れながら、多様な他者と協力して探究に取り組んでいる。 ウ【主体性】 多様性を受け入れながら、探究に主体的かつ積極的に取り組んでいる。 エ【主体性・当事者意識】 地域や社会の課題を自らの課題として捉えている。

単元内容

1 学年の単元内容

単元名	単元内容		
	育成を目指す具体的な資質・能力		
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
八代（県南）地域を知り、主体的に地域の人々と関わり合いながら、SDGsの視点から八代（県南）地域まわりのことを考える	ア【物事を多角的に見る力】 八代（県南）地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解する。 イ【物事を多角的に見る力】 SDGsの視点や社会との繋がりが等、現代社会の抱える課題に対する様々な見方や考え方を理解する。 ウ【情報を収集する力】 新聞記事や新書、インターネット（RESAS）等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりする。 エ【要約する力】 資料に基づき、伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめる。 オ【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめる。 カ【コミュニケーション力・プレゼンテーション力】 まとめた内容を聞き手に正確に伝える。 キ【協力する力】 班で協力して探究の取組をまとめる。	ア【物事の連関を捉える力】 八代（県南）地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を、SDGsや社会との繋がりが等と関連付けて考察する。 イ【課題を解決する力】 地域と自己との関わりから課題を設定する。 ウ【課題を解決する力】 設定した課題に対して、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を検討する。 エ【情報を整理・分析する力、論理的に考察する力】 新聞記事や新書、インターネット（RESAS）等を活用して収集した必要な情報を整理・分析し、論理的に考察する。 オ【効果的に伝える力】 調査内容や提案内容について、表や図を用いるなど工夫して、ポスター等に効果的にまとめる。 カ【論理的に伝える力】 調査内容や提案内容の主題を、明快かつ論理的にまとめる。	ア【地域と関わる力】 校内外の人たちと繋がりながら探究に取り組む。 イ【多様な他者と協働する力】 多様な意見を取り入れながら、校内外の人たちと協力して探究に取り組む。 ウ【主体性】 多様な意見を受け入れながら、探究に主体的かつ積極的に取り組む。 エ【主体性・当事者意識】 八代（県南）地域や社会の課題を自らの課題として捉える。

単元の評価規準

1 学年の単元の評価規準

単元名	単元の評価規準		
	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
八代（県南）地域を知り、主体的に地域の人々と関わり合いながら、SDGsの視点から八代（県南）地域まわりのことを考える	ア【物事を多角的に見る力】 八代（県南）地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解している。 イ【物事を多角的に見る力】 SDGsの視点や社会との繋がりが等、現代社会の抱える課題に対する様々な見方や考え方を理解している。 ウ【情報を収集する力】 新聞記事や新書、インターネット（RESAS）等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりしている。 エ【要約する力】 資料に基づき、伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめている。 オ【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめている。 カ【コミュニケーション力・プレゼンテーション力】 まとめた内容を聞き手に正確に伝えている。 キ【協力する力】 班で協力して探究の取組をまとめている。	ア【物事の連関を捉える力】 八代（県南）地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を、SDGsや社会との繋がりが等と関連付けて考察している。 イ【課題を解決する力】 地域と自己との関わりから課題を設定している。 ウ【課題を解決する力】 設定した課題に対して、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を検討している。 エ【情報を整理・分析する力、論理的に考察する力】 新聞記事や新書、インターネット（RESAS）等を活用して収集した必要な情報を整理・分析し、論理的に考察している。 オ【効果的に伝える力】 調査内容や提案内容について、表や図を用いるなど工夫して、ポスター等に効果的にまとめている。 カ【論理的に伝える力】 調査内容や提案内容の主題を、明快かつ論理的にまとめている。	ア【地域と関わる力】 校内外の人たちと繋がりながら探究に取り組んでいる。 イ【多様な他者と協働する力】 多様な意見を取り入れながら、校内外の人たちと協力して探究に取り組んでいる。 ウ【主体性】 多様な意見を受け入れながら、探究に主体的かつ積極的に取り組んでいる。 エ【主体性・当事者意識】 八代（県南）地域や社会の課題を自らの課題として捉えている。

指導と評価の年間計画

3 指導と評価の計画 (全35時間)

1年次 (全35時間)						
単元 時間	目標	重点 (観点)	指導方法	評価基準 (B基準)	評価方法	記録
あたらしいものの見方を知る (6)	探究オリエンテーション (1) 多様性を受け入れながら、探究活動に主体的かつ積極的に取り組む。	態・ウ	・アイスブレイク ・説明 (ICT を活用) ・課題解決 (グループワーク)	多様性を受け入れながら、探究活動に主体的かつ積極的に取り組んでいる。	成果物	
	探究オリエンテーション (1) SDG s の視点や社会との繋がりが等、現代社会の抱える課題に対する様々な見方や考え方を理解する。	知・イ	・説明 (ICT を活用) ・課題解決 (グループワーク)	SDG s の視点や社会との繋がりが等、現代社会の抱える課題に対する様々な見方や考え方を理解している。	成果物	
	新聞でSDG s (2) 新聞記事や新書、インターネット (RESAS) 等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりする。	知・ウ	・課題解決 (個別、グループワーク)	新聞記事や新書、インターネット (RESAS) 等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりしている。	成果物	○
	SDG s で学問研究 (2) 八代 (県南) 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を、SDG s や社会との繋がりが等と関連付けて考察する。	思・ア	・課題解決 (個別、グループワーク)	八代 (県南) 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を、SDG s や社会との繋がりが等と関連付けて考察している。	成果物	
	データ活用でSDG s (2) 新聞記事や新書、インターネット (RESAS) 等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりする。	知・ウ	・課題解決 (個別、グループワーク)	新聞記事や新書、インターネット (RESAS) 等を活用して、必要な情報を取り出したり収集したりしている。	成果物	
新しいものの見方を活用する (8)	知の触発プログラム (2) 八代 (県南) 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解する。	知・ア	・説明 (ICT を活用) ・課題解決 (グループワーク)	八代 (県南) 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解している。	成果物	

課題研究 コース別プロジェクト (20)	課題発見ライブラリー (2) 八代 (県南) 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解する。	知・ア	・説明 (ICT を活用) ・課題解決 (グループワーク)	八代 (県南) 地域の特色や課題、社会の発展に向けた様々な取組を理解している。	成果物	○
	新書を読んで課題発見 (2) 資料に基づき、伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめる。	知・エ	・課題解決 (個別、グループワーク)	資料に基づき、伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめている。	成果物	○
	コース別プロジェクト① (1) 班で協力して探究の取組をまとめる。	知・キ	・課題解決 (個別、グループワーク)	班で協力して探究の取組をまとめている。	教師による観察	
	コース別プロジェクト② (2) 地域と自己との関わりから課題を設定する。	思・イ	・課題解決 (個別、グループワーク)	地域と自己との関わりから課題を設定している。	成果物	○
	コース別プロジェクト③ (4) 校内外の人たちと繋がりながら探究に取り組む。	態・ア	・校外活動 (グループ) ・課題解決 (個別、グループワーク)	校内外の人たちと繋がりながら探究に取り組んでいる。	教師による観察	○
	コース別プロジェクト④ (3) 設定した課題に対して、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を検討する。	思・ウ	・課題解決 (個別、グループワーク)	設定した課題に対して、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を検討している。	成果物	
	コース別プロジェクト⑤ (2) 新聞記事や新書、インターネット (RESAS) 等を活用して収集した必要な情報を整理・分析し、論理的に考察する。	思・エ	・課題解決 (個別、グループワーク)	新聞記事や新書、インターネット (RESAS) 等を活用して収集した必要な情報を整理・分析し、論理的に考察している。	成果物	○
	コース別プロジェクト⑥ (2) 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめる。	知・オ	・課題解決 (個別、グループワーク)	伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめている。	成果物	○

ワークシート

② 講座の内容は、SDGsのどの目標の達成につながるだろうか。関連する目標に○をつけよう。



1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任と消費 13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう

③ ~「誰一人取り残さない」ための3つの視点~

知識・技能

思考·判断·表现

主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度

高校1年次

オリエンテーション

SDGsを学ぶ
新しいものの見方を知る

新聞でSDGs

SDGsで学問研究

データでSDGs

SDGsで課題発見

課題発見ライブラリー(選択講座)

新しいものの見方を活用する

新書を読んでレポート作成

知の触発プログラム

RESASで地域の課題発見

課題研究 コース別プロジェクト

コース別プロジェクト

地域の方々との意見交流会

ポスターセッション

振り返り・次年度に向けて

1
学
期

2,
3
学
期

1年生 6月 課題発見ライブラリー(選択講座)

ねらい・学習活動

探究活動に取り組むにあたり、地域で活躍されている方々の話を聞いたり現代社会の課題に関わる書籍を読んだりすることを通して、社会への関心や課題意識、知的好奇心を喚起する。

評価する資質・能力
知識・技能

評価の方法
成果物



出会い
(触発)



課題意識
意欲

考えるための技法

関連付ける

多面的・多角的に見る

理由付ける

※見通す (生徒実行委員)

私は高校を卒業したら九州を出ようと思っていたけれど、**八代でこういう取り組みがやっていることを知り、これから変わっていく八代を見たい**と思いました。熊本や八代の人口は、どうにかすれば改善できるんだと思いました。

課題研究 コース別プロジェクト



これまでの課題研究

課題研究 コース別プロジェクト

教師提示

生徒選択

- コースの設定
- 班の編成

教師提示

生徒選択

- コース別プロジェクトの設定

生徒主体

教師助言

- 研究テーマの設定
- 研究方法

生徒・教師協働
※地域の協力

- 研究テーマの設定
- 研究方法

生徒主体

教師助言

- 研究内容
- 研究計画
- 研究に関わる企画等

生徒・教師協働
※地域の協力

- 研究内容
- 研究計画
- 研究に関わる企画等

生徒主体ではあったが、助言が不十分で、調べ学習に終わってしまう。

1年次は、教師がしっかりと関与して生徒とともに研究に取り組むことにより、生徒たちに課題発見・地域との協働を経験させ、2年次の課題研究につなげる。

課題研究 コース別プロジェクト



ねらい・学習活動	評価する資質・能力	評価の方法
SDGsの達成を意識し、地域資源を活用しながら、これまでに培った力を総動員して、チームで探究活動に取り組む。(全20回)	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	成果物 教師による観察

- ① **ジビエ開発プロジェクト**
- ② **環境探究プロジェクト 球磨川の環境保全活動**
～干潟の生き物、不法投棄、水防災～
- ③ **世界とつくる未来探究プロジェクト**
～“届けよう、服のチカラ”、国際協働学習アートマイル～
- ④ **共に生きる未来探究プロジェクト**
～外国にルーツを持つ子どもたちとの関わり～
- ⑤ **地域創生プロジェクト** ～地域資源の価値と可能性～
- ⑥ **食育・健康増進プロジェクト**

考えるための技法

関連付ける
多面的・多角的に見る
見通す
構造化する

課題研究 コース別プロジェクト



校外活動に出かける様子



ジビエ肉でクラフト作品作り



町の商店街の現状と課題を探る



子ども服の回収活動。
1週間で380枚集まった。



球磨川の野鳥や干潟の生き物観察



防災について考える

地域の方々との意見交流会



ねらい・学習活動

コース別プロジェクトの取り組み経過を生徒同士で共有したり、地域の方々との意見交流をしたりすることによって、これまでの探究活動を振り返り、今後の活動をブラッシュアップする。

評価する資質・能力
主体的に学習に取り組む態度

評価の方法
教師による観察



緊張した。
他のグループとも相関性があると思ったので
融合させてみるのもいいと思った。



地域の方から意見をもらって、新しい視点で見ることができたり、他の班と交流して、自分たちのプロジェクトに新しいものを取り入れたりすることができたりしていい機会だったと思う。

どの班も、それぞれ違った魅力があり、たくさん調査、研究をしているのだから、と思いました。私自身も他の班の発表を聞いて感化されました。

ポスターセッション



ねらい・学習活動

コース別プロジェクトで取り組んだ内容や考察したことを発表資料としてまとめ、発表する。発表会では生徒同士で意見交換をしたり専門家からのアドバイスをもらったりすることによって、考察を深めたり、評価・改善したりする。

評価する資質・能力

知識・技能
思考力・判断力・表現力

評価の方法

観察
成果物
相互評価



ポスターセッションの様子



大学の先生からの講評

ポスターセッション



高1探究 成果発表（ポスターセッション）相互評価シート

※別紙「成果発表（ポスターセッション）の評価」を見て、評価しましょう。

チーム名 水防災プロジェクト
～熊本地震と令和2年7月豪雨から学ぶ地域防災～

評価の観点	評価
1 探究する力	S <u>A</u> B C
2-1 表現する力(1) 要約・構成・工夫・論理性	S A <u>B</u> C
2-2 表現する力(2) コミュニケーション能力 プレゼンテーション能力	S A <u>B</u> C
3 協働する力	S A <u>B</u> C

コメント

いざ「ドキュメント」の色分けをよこし、
 中々リヤがかった。
 考察も明確にしている。
 良いと思った。
 災害にそなえる、と思った。

学んだこと 多種多様な鳥や魚について知るうちに、もっと海について知りたくなった。八代海には豊かな生物たちが棲んでいるので、その生物たちを守って行って、豊かさを守ることが大切だと感じた。

もっと知りたくなったこと、または次に取り組みたいこと

大雨や災害によって受ける川の影響。絶滅危機にある生物について。

後輩へのアドバイス・メッセージ

探究の活動を行っていく中で、疑問に思ったことやもっと知りたいと思ったことを書き残して、それについて積極的に研究していく姿勢が大切です。そうして、意見や考えを深めて交流してってください。

ループリック評価表

自己評価表。年度初めと終わりに実施し、自身の成長を確認する。

()年()組()号 氏名() 確認した日()年()月()日

総合的な探究の時間 到達レベルを 確認しよう	高3				
	高2				
	高1				
	※	I	II	III	IV
(1)知識・技能 (2)思考力・判断力・表現力等 (3)学びに向かう力・人間性等	少々苦手レベル	高1前半までに到達することを目指したいレベル	高1終了時までに到達することを目指したいレベル	高2終了時までに到達しつつあることを目指し、高3終了時までに到達することを目指したいレベル	高校生の中で高い実力があると考えられるレベル
1 探究する力	文献やインターネットを使って情報を収集することが少しできる。	【情報を収集し整理する力】 文献やインターネット、インタビュー等で情報を収集し、まとめることができる。	【物事を多角的に見る力】 物事を、SDGsとの関連や社会との繋がり等、いくつかの視点で捉えることができる。	【物事の連関を捉える力】 社会の課題を捉え、調査内容と身近なことや社会の事象を関連づけて考察することができる。	【課題を解決する力】 実社会や実生活と自己との関わりから問を見いだして課題を設定し、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を提案することができる。(解決策を試行することができる。)
2 表現する力 (1)要約・構成・工夫・論理性	伝えたい内容をまとめることが少しできる。資料からの引用と自らの意見との区別が曖昧である。	【要約する力】 伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめることができる。参考にした資料等を明示することができる。	【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめることができる。	【効果的に伝える力】 伝えたい内容を、表や図を工夫して、読み手の関心をひくようにまとめることができる。	【論理的に伝える力】 最も伝えたい内容が何であるかが読み手にすぐわかるようなまとめ方をすることができる。内容を、論理的に構成し、説得力をもたせることができる。
(2)コミュニケーション プレゼンテーション	自らの声で情報を伝えようという気持ちを持っている。	【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 情報をうまく伝えることができていないところも少しあるが、取り組みの内容を伝えようとする気持ちを持っている。	【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 取り組みの内容を伝えようとする気持ちを持っており、伝えたい内容を伝えることができる。	【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 取り組みの内容を伝えたいという強い気持ちを持っており、適切な声の大きさや速さで、聞き手に正確に伝えることができる。	【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 取り組みの内容を伝えたいという強い気持ちを持っており、専門用語等も正確に用いて、的確に聞きやすい説明をすることができる。
3 協働する力	協力することが少しできる。	【協力する力】 班で協力して探究の取り組みをまとめることができる。	【地域と関わる力】 校内外の人たちと繋がりがながら探究に取り組み、取り組んだ内容を仲間と協力してまとめることができる。	【多様な他者と協働する力】 校内外の人たちと繋がりが、他者の意見を取り入れながら、探究に取り組むことができる。	【協働して社会に貢献する力】 自分の強みと弱みを理解して他者と繋がりが、互いの良さを生かしながら探究し、社会に影響を与える活動に取り組むことができる。
4 学びに向かう力	与えられたことに取り組むことが少しできる。	【責任感】 自分の分担として与えられたことに責任をもって取り組んでいる。	【主体性】 探究に主体的に取り組もうという気持ちをもって、自らのすべきことに積極的に取り組んでいる。	【主体性・当事者意識】 探究に主体的に取り組む、他者と協働しながら、地域の発展や社会の課題解決を目指している。	【主体性・創造性・使命感】 探究に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会の実現を目指している。

指導要録(記述による評価)に生かす

高校2年次

オリエンテーション

SDGsで課題発見Ⅱ 新しいものの見方を活用する

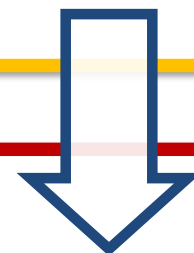
新聞で課題発見(春休み課題)

新書を読んで課題発見

「問い」の立て方学習

先生たちとの相談会/夏のリサーチ活動計画

1
学期



課題研究プロジェクト 八代(県南)地域 まちづくりプロジェクト

課題研究プロジェクト

中間報告会

課題研究発表会

2,
3
学期

振り返り

2年生 6～7月

先生たちとの相談会/夏のリサーチ活動計画

ねらい・学習活動

立案した探究テーマについて教員と話し合うことで、テーマを探究活動に堪えうるテーマへとアップデートさせる。また夏のリサーチ活動計画を立案することで、計画性や実行力を養う。

評価する資質・能力

思考力・判断力・表現力

評価の方法

教師による観察
成果物

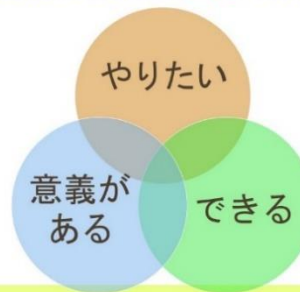
将来へのグローバルキャリア

- ・将来どの学部に進学する？
- ・将来どの職種に就職する？
- ・自分は何がしたい？
- ・自分は何ならでき？



→問いの選択を通して考えてみよう！

1年間探究できる問いを探そう



相談



テーマの
深まり



考えるための技法

比較する
見通す
具体化する
多面的・多角的に見る



課題研究プロジェクト



ねらい・学習活動 SDGsの達成を意識し、地域資源を活用しながら、これまでに培った力を総動員して、チームで探究活動に取り組む。 (全25回)	評価する資質・能力 知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学びに取り組む態度	評価の方法 観察 成果物
---	--	---------------------------------------

高2 課題探究プロジェクトイメージ



考えるための技法

関連付ける
多面的・多角的に見る
見通す
構造化する

課題研究プロジェクト



②生物・環境コース～海・干潟・水防災・エネルギー～

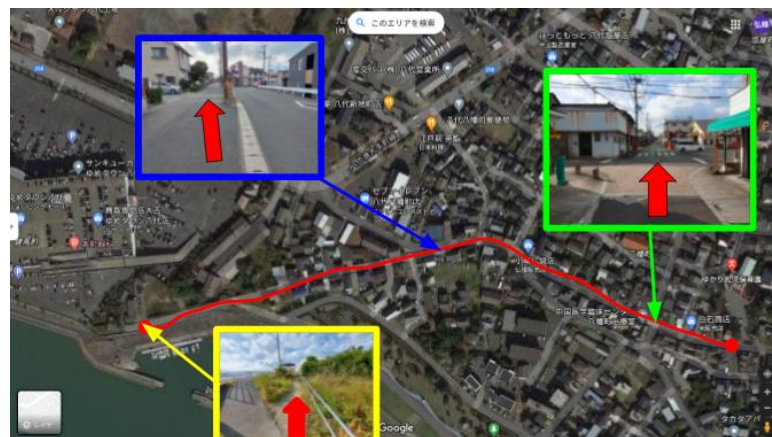
干潟の水質～干潟の生き物と水質の関係～

《班員》

◎研究の目的
班員が、野鳥や水質について、興味を持っていたので、干潟の生き物と、水質の関係について調べようと思ったので、このテーマにした。

◎研究内容
干潟の生き物の生息している環境や、その水質を調べることによって、干潟の生物と水質の関係や、干潟の生態系を知ることができる。そして、その調べたことを生かして、干潟の大切さについて、ポスターにまとめて外部に発信する。

◎考察・今後の課題・展望など
八代海に生息する生物について分かってきたので、水質について、インターネットや文献でしらべたことを使って、八代海についてもっと理解を深めていきたい。

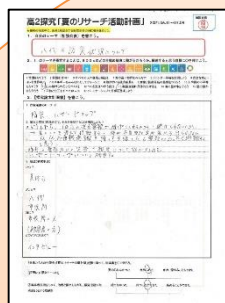
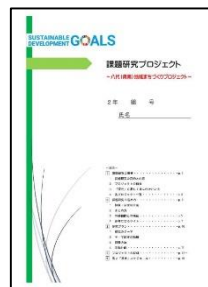


生徒がGoogleスライドを利用して作成した資料

探究活動サイクル



年間の評価(評価の総括)



探究の目標	探究の計画	探究の進捗	探究の結果	探究の振り返り
探究の目標	探究の計画	探究の進捗	探究の結果	探究の振り返り
探究の目標	探究の計画	探究の進捗	探究の結果	探究の振り返り
探究の目標	探究の計画	探究の進捗	探究の結果	探究の振り返り
探究の目標	探究の計画	探究の進捗	探究の結果	探究の振り返り

ワークブックやワークシート
をもとにした振り返り

ループリックをもとにした
自己評価

生徒の
評価



最終面談

教師の
評価

指導要録の作成



教師の観察・記録

成果物

指導と評価の年間計画
をもとにした評価

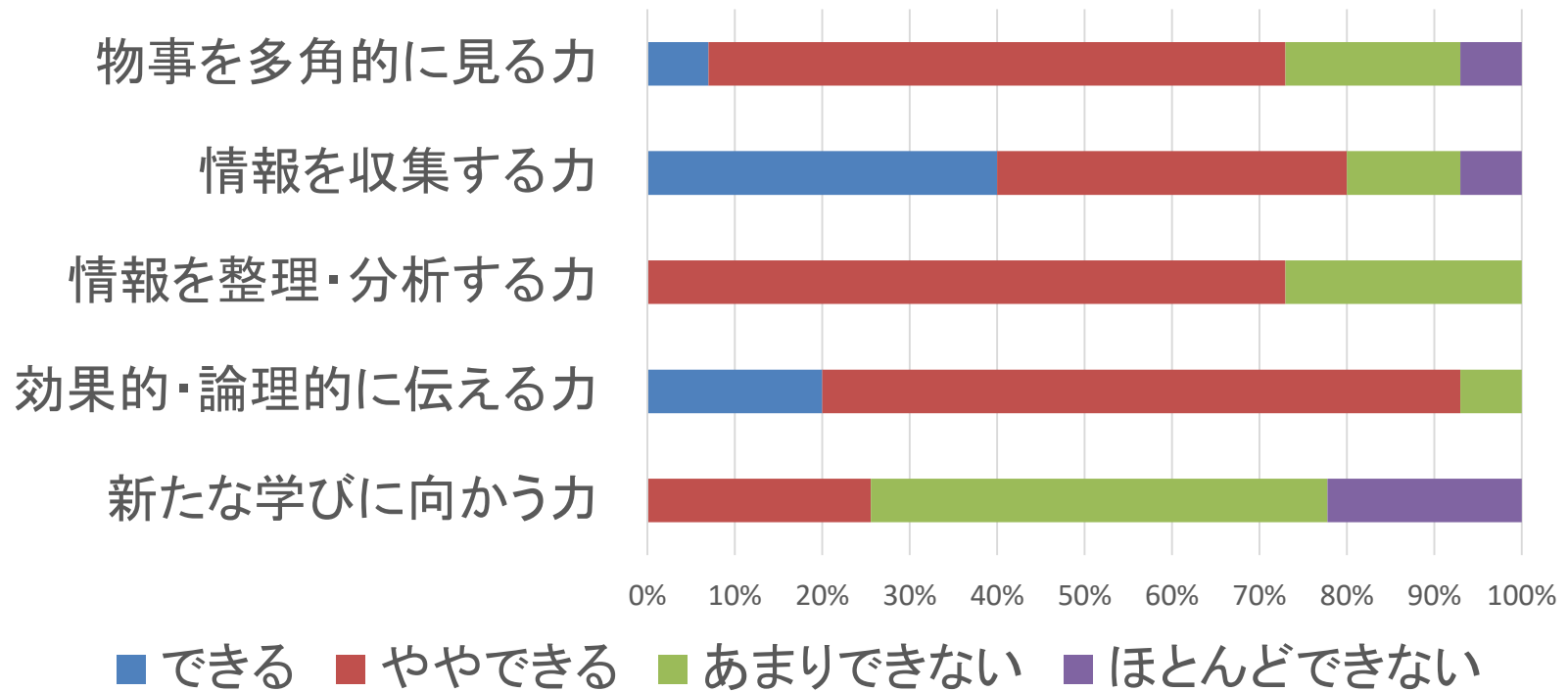
4 成果と課題

本校の探究で実践したこと

- ① 課題意識の触発・課題設定への支援
- ② 課題意識や調べ学習を「行動」につなぐ工夫
- ③ 当事者意識の喚起
- ④ 進路・LHR・教科等との関連を持たせる
- ⑤ 主体性の育成

職員へのアンケート結果

生徒が以下の力をどのくらい身につけていると感じるか？



地域社会に対する関心
が高くなった。

外に出て実際のものを見たり、
話を聞いたりすることが当たり
前のような雰囲気がある。

生徒の
状況や
変化

何かしないといけない、何
かしたいという意識を持つ
生徒が多数派になっている。

生徒へのアンケート

探究活動に取り組む中で、楽しいと感じることを教えてください。

新しいことを発見できたとき。

自分の思っていたことが、他の人の意見と違っていたりするとき。

日本や世界でどのようなことが行われているのかを、自分の興味がある分野で深く調べられたり、地域との繋がりを感ぜられる点。

友達同士で様々な意見を出し合い意見交換をすること。

将来の進路決定に役立っていると思うので、新しいことを知るのが楽しい。

- ① 課題意識の触発
- ② 課題意識や調べ学習を「行動」につなぐ工夫
- ③ 当事者意識の喚起
- ⑤ 主体性の育成

職員の感じて いる課題

なかなか最初の
「課題設定」から抜
け出せない生徒も
多いのが実情です。

調べ学習で終わってし
まいそうな生徒がいて
も、当該生徒に対して
どのようなアドバイ
スをすればよいか分か
らないことがある。

教師自身が生徒の
最終的なゴールを
イメージできない。

課題1
課題設定への支援
が難しい

課題2 知識不足

課題3 時間が足りない

私自身の知識も
不足していて、
指導に自信が持
てない。

生徒が課題を探究
するためには知識
が必要なので、調べ
学習が長くなってし
まうのは当然かなと
思います。現状の週
1コマでは難しいの
ではないでしょうか。

生徒の感じている課題

調べ学習に終わらないテーマを見つけるのが難しく、テーマを何回も変更したら、時間が足りなくなった。

課題1
課題設定が難しい

情報は結構集まっているけど、次に何をしたらいいのかわからない。

課題2 知識不足

学校で習ったことが探究に生きていることは実感できているけれど、世の中のことを知らなすぎて調べ学習をするので精一杯。

課題3 時間が足りない

探究を頑張りたいという思いもあるし大事なのはわかっているけれど、計画的にやろうとしても宿題や部活が忙しくて手が回らない。

生徒の立てた「問い」(課題)の例

深まりにくい浅い「問い」	探究に堪える深い「問い」
球磨川水系の水質について	若者が活躍できる街づくりを条例から考える
LGBTQについて	アーケードはなぜ過疎化するのか？ 過疎化しないためには
みんなが暮らしやすい八代を創るために	ジビエの骨で肥料をつくってみよう
世界の医療について	ADHDが社会で広く認識されるため、ADHDの誤解が無くなるためには何ができるか

次年度以降の改善点

- ① 課題設定への支援の充実
- ② 地域とのつながりをより強固に
(win-winな関係の構築)
- ③ 1, 2年次の探究カリキュラムの見直し
- ④ 教科等横断的な学習の推進



ありがとうございました。